

## 〇〇大学法科大学院機能強化構想調書

## (法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラム)

1. □□研究科△△専攻における教育理念（教育方針）及び今後目指すべき方向性  
（最大文字数 600 字以内で記載）

## 教育理念（教育方針）及び今後目指すべき方向性

〇〇大学法科大学院は、・・・・を目的としており、・・・・における法曹を養成することを教育理念としている。これまで・・・・

## 【記載要領】

〇グレーの箇所には昨年の調書（様式 1）に記載したことをコピー&ペーストしてください。以下、同様。

2. 今後 5 年間（2019～2023 年度）の機能強化構想  
（最大文字数 600 字以内で記載）

## 機能強化構想

〇〇大学法科大学院は今後 5 年間において、以下の〇つの機能強化を実施する。  
一つ目は・・・・

3. 「教育理念（教育方針）及び今後目指すべき方向性」と「今後5年間の機能強化構想」の関係

（最大文字数 800 字以内で記載）

1. と 2. の関係について

本法科大学院の●●という現状・課題を踏まえると、教育理念及び今後目指すべき方向性を実現するためには、△△という機能強化が不可欠となる。その理由としては・・・

構想を実現するための取組①（重要度 40%～70%）

【取組区分①:「法科大学院等の抜本的な教育の改善・充実に向けた基本的な方向性」の柱である法科大学院と法学部等との連携強化の取組、法学未修者教育の質の改善の取組】

番号	取組①－ 1			
「今後 5 年間の機能強化構想」と各取組との関係	※最大文字数 600 字以内程度で記載 ○○を実現するため、・・・・・・・・・・の取組を実施する。			
取組の概要 ※目標値を達成するための取組が複数ある場合は、取組ごとに欄を追加し、概要を記載	【取組期間】 ○年○月～○年○月まで 【取組の概要】 ※目標値を達成するための取組の概要を 500 字以内程度で記載			
重要度	基準時点	基準値	目標時点	目標値
20%	2017 年 9 月 ○ 日	司法試験合格率 ○%	2023 年 9 月	司法試験合格率 70%
KPI 設定の考え方	※設定した目標値が機能強化構想や関連する取組との関係を踏まえ、適切かつ妥当なものとする理由を 500 字以内程度で記載			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実績値	〇〇	〇〇	— 算出不可	〇〇	〇〇
自己評価	a	a	a	a	a
自己評価の判断理由	※実績値は、調書提出時点の最新の値を記入すること。 ただし、実績値が算出できない取組については、例のように記載し、算出不可であることが分かるようにすること。各年度の取組状況は、【2023年度】の状況を記載すること。  <b>【2019年度】</b> (2018年10月～2019年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇  <b>【2020年度】</b> (2019年10月～2020年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇  <b>【2021年度】</b> (2020年10月～2021年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇  <b>【2022年度】</b> (2021年10月～2022年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇  <b>【2023年度】</b>				評点
					自己評価 a：順調以上 b：遅れているが目標達成に支障はない c：遅れており、更なる工夫が必要
過去の審査の際に算出不可だった項目についても、2023年度時点で判明した実績値を記載してください。					昨年度の評点
					S～C
					<b>【記載要領】</b> ①昨年度の評点欄には、昨年度に通知した個表の評価S～Cを入れてください。 ②自己評価の判断理由の【2019～2022年度】分については、昨年の調書(様式1)に記載したことをコピー&ペーストしてください。

	<p>(2022年10月～2023年11月の取組状況)</p> <p>※800字以内</p> <p>(自己評価の説明)</p> <p>※取組状況や実績値を踏まえ、説明すること。</p> <p>※実績値が算出できない取組については、その理由を付すとともに、計画に沿って実施した取組、計画の達成のため工夫した取組、特筆すべき事項など具体的に記載すること。特筆すべき事項については、コロナ禍で対応できなくなった事項、コロナ禍でどのような工夫をしたのかなどについて記載すること。</p>	
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

※評点の項目及びグレーの箇所は記載不要です。オレンジの箇所に記載ください。

構想を実現するための取組②（重要度 0%～30%）

【取組区分②：法科大学院等の抜本的な教育の改善・充実に資する連携・連合の取組】

番号	取組②－ 1			
「今後 5 年間の機能強化構想」と各取組との関係	※最大文字数 600 字以内程度で記載 ○○を実現するため、・・・・・・・・・・の取組を実施する。			
取組の概要 ※目標値を達成するための取組が複数ある場合は、取組ごとに欄を追加し、概要を記載	【取組期間】 ○年○月～○年○月まで 【取組の概要】 ※目標値を達成するための取組の概要を 500 字以内程度で記載			
重要度	基準時点	基準値	目標時点	目標値
20%	2017 年 9 月 ○ 日	司法試験合格率 ○%	2023 年 9 月	司法試験合格率 70%
KPI 設定の考え方	※設定した目標値が機能強化構想や関連する取組との関係を踏まえ、適切かつ妥当なものとする理由を 500 字以内程度で記載			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実績値	〇〇	— 算出不可	〇〇	〇〇	〇〇
自己評価	a	a	a	a	a
自己評価の判断理由	<p>※実績値は、調書提出時点の最新の値を記入すること。 ただし、実績値が算出できない取組については、例のように記載し、算出不可であることが分かるようにすること。各年度の取組状況は、【2023年度】の状況を記載すること。</p> <p>【2019年度】 (2018年10月～2019年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇</p> <p>記載要領は、構想を実現するための取組①(P4)参照</p> <p>〇〇</p> <p>【2021年度】 (2020年10月～2021年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇</p> <p>【2022年度】 (2021年10月～2022年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇</p> <p>【2023年度】 (2022年10月～2023年11月の取組状況)</p>				評点
					昨年度の 評点
					S～C

	<p>※800 字以内 (自己評価の説明) ※取組状況や実績値を踏まえ、説明すること。 ※実績値が算出できない取組については、その理由を付すとともに、計画に沿って実施した取組、計画の達成のため工夫した取組、特筆すべき事項など具体的に記載すること。特筆すべき事項については、コロナ禍で対応できなくなった事項、コロナ禍でどのような工夫をしたのかなどについて記載すること。</p>	
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

※評点の項目及びグレーの箇所は記載不要です。オレンジの箇所に記載ください。



構想を実現するための取組③（重要度 0%～30%）

【取組区分③：取組①及び②以外の大学独自の取組】

番号	取組③－ 1			
「今後 5 年間の機能強化構想」と各取組との関係	※最大文字数 600 字以内程度で記載 ○○を実現するため、・・・・・・・・・・の取組を実施する。			
取組の概要 ※目標値を達成するための取組が複数ある場合は、取組ごとに欄を追加し、概要を記載	【取組期間】 ○年○月～○年○月まで 【取組の概要】 ※目標値を達成するための取組の概要を 500 字以内程度で記載			
重要度	基準時点	基準値	目標時点	目標値
20%	2017 年 9 月 ○ 日	司法試験合格率 ○%	2023 年 9 月	司法試験合格率 70%
KPI 設定の考え方	※設定した目標値が機能強化構想や関連する取組との関係を踏まえ、適切かつ妥当なものとする理由を 500 字以内程度で記載			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実績値	〇〇	— 算出不可	〇〇	〇〇	〇〇
自己評価	a	b	a	a	a
自己評価の判断理由	<p>※実績値は、調書提出時点の最新の値を記入すること。 ただし、実績値が算出できない取組については、例のように記載し、算出不可であることが分かるようにすること。各年度の取組状況は、【2023年度】の状況を記載すること。</p> <p>【2019年度】 (2018年10月～2019年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇</p> <p>【2020年度】 (2019年10月～2020年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">記載要領は、構想を実現するための取組① (P4) 参照</div> <p>〇〇 (自己評価の説明) 〇〇</p> <p>【2022年度】 (2021年10月～2022年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇</p> <p>【2023年度】 (2022年10月～2023年11月の取組状況)</p>				評点
					昨年度の 評点
					S～C

	<p>※800字以内          (自己評価の説明)          ※取組状況や実績値を踏まえ、説明すること。          ※実績値が算出できない取組については、その理由を付すとともに、計画に沿って実施した取組、計画の達成のため工夫した取組、特筆すべき事項など具体的に記載すること。特筆すべき事項については、コロナ禍で対応できなくなった事項、コロナ禍でどのような工夫をしたのかなどについて記載すること。</p>	
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

※評点の項目及びグレーの箇所は記載不要です。オレンジの箇所に記載ください。

### ○特別加算枠

【共通到達度確認試験を活用した未修者教育の改善・充実と質の保証について】

<p>進級判定時の共通到達度確認試験の活用方法</p>	<p>※ 令和5年度(2023年度)の活用方法を最大文字数500字程度以内で具体的に記載してください。          確認試験の最低基準(得点、順位、偏差値等)を置く場合は、その基準値の根拠も併せて記載してください。</p>
-----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------